【研究テーマ】
苦痛のスクリーニングからがん相談を希望した肺がん患者の実態調査

研究責任者：徳島県立三好病院　外来副看護師長　田村早苗
共同研究者：徳島県立三好病院　外来緩和ケア認定看護師　浅野博美
徳島県立三好病院　医学教育センター副看護師長　酒谷久美子
徳島県立三好病院　外来師長　谷靖子

【研究目的・意義】
A 病院の肺がん患者に対して実施した苦痛のスクリーニングの結果から、がん相談を希望する患者の実態を明らかにし、スクリーニング陽性者へのアプローチ方法や、病期に応じた外来看護につなげていくための示唆を得る。

【研究方法及び内容】
2018 年 4 月から 2023 年 3 月末までに、A 病院において肺癌患者に対して実施した苦痛のスクリーニングにおける「患者さんの生活に関する質問票」で、「できるだけ早く相談したい」「相談の予約をしたい」と答えた患者の質問票の内容、病期、治療上のイベント、患者背景等による実態を電子カルテより収集し、単純集計する。

【研究期間】
令和 5 年 6 月 1 日から令和 5 年 11 月 30 日まで

【研究対象者】
2018 年 4 月から 2022 年 3 月末までに徳島県立三好病院で「患者さんの生活に関する質問票」の記載があり、「出来るだけ早く相談したい」「相談の予約をしたい」と答えた肺がん患者